

愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会 令和7年度事業計画

近年、県内におけるニホンジカの侵入、拡大による自然植生被害が懸念されている。一度失われた自然を回復するには相当の期間等を要することから、被害が拡大する前に、ニホンジカから希少野生植物等を保全し、次代につないでいくため、県、市町、関係団体等が連携し、令和6年度、愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会を設立した。

今年度においては、前年度に引き続き、希少植物群落等の持続可能な保全対策を効果的に実施するため、植物群落の現状や影響調査、人材育成、自走化支援、普及啓発、保全事業を行うとともに、令和6年度に実施した内容を踏まえ、課題を整理・確認しながら、ブラッシュアップを図っていく。そして、多様な主体の参画による保全体制の構築、人材育成を図るとともに、ニホンジカによる植生被害と生態系への影響等を正しく認識するための普及啓発を行い、地域での取り組み意識の醸成に繋げる。また、保全事業を持続可能なものにするため自走化支援を行い、生物多様性保全の活動を促進するとともに、ネイチャーポジティブ経済の実現を目指す。

1 協議会運営事業

(1) 総会の開催

- 前年度の事業等の評価・収支決算、今年度の事業等の計画・収支予算を決定するための総会を年1回開催する。

2 愛媛県における希少野生動植物等保全事業【各部会事業】

(1) 植生被害調査事業【調査部会】

ア 保全対象群生地 の状況調査

- **継続** 現地調査(環境省の交付決定前着手届受理後)
調査予定箇所(15箇所)

科 名	和 名	愛媛県	環境省	高知県	徳島県	香川県	県内記録(主に2000年以降, 当該市町のみ)	R7年度調査予定
ヒカゲノカズラ科	ナンカクラン	CR		CR	CR		四国全体の希少種。宇和島市。高知2ヶ所,	宇和島市
ナヨシダ科	エビラシダ	EN		EN	EN		四国中央市, 新居浜市, 西条市	新居浜市
オシダ科	ハガクレカナワラビ	CR	VU	VU	DD		篠山, 宇和島市	宇和島市
オシダ科	ギフベニシダ	CR		NT	CR		八幡浜市, 大洲市, 今治市, 東温市	今治市
オシダ科	ミヤマベニシダ	CR		CR	CR		久万高原町	久万高原町
オシダ科	アツギノヌカイトチシダ マガイ	CR			CR		新居浜市, 西条市	西条市

シュロソウ科	ツクシショウジョウバカマ	EN					四国中央市, 新居浜市	四国中央市
アジサイ科	バイカアマチャ	EN					鬼北町, 久万高原町	鬼北町
ツツジ科	ゲンカイツツジ	CR	NT				東温市。四国唯一の自生地。	東温市
シソ科	ハルノタムラソウ	EN			CR	EX	宇和島市, 鬼北町, 愛南町他	宇和島市
シソ科	ヤマタツナミソウ	EN		CR	CR	1 類	松山市, 西条市, 久万高原町。四国の希少種,	松山市
キク科	ホソバニガナ	CR	EN		CR		西条市。四国は他に徳島県 CR。	西条市
キク科	ヤマボクチ	CR		EN			西条市, 東温市, 西予市	東温市(再調査)
キク科	キクバヤマボクチ	EN		CR			西条市。四国で唯一の自生地の可能性がある。	西条市(再調査)
スイカズラ科	オニツクバネウツギ	CR	CR	CR			高知県の2ヶ所と西予市, 宇和島市のみに自生する。国の CR。	宇和島市(再調査)

(参考) 愛媛県レッドリストカテゴリー区分の概要

絶滅 (EX)	絶滅 (EX)	すでに絶滅したと考えられる種	
	野生絶滅 (EW)	飼育・栽培下あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ 存続している種	
絶滅危惧	絶滅危惧I類 (CR + EN)	絶滅の危機に瀕している種	
		絶滅危惧IA類 (CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
		絶滅危惧IB類 (EN)	IA 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
	絶滅危惧 II 類 (VU)	絶滅の危険が増大している種	
準絶滅危惧 (NT)		現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種	
情報不足(DD)		評価するだけの情報が不足している種	
要注意種 (AN)		愛媛県内の分布域全体を俯瞰すると、現時点で種として絶滅のおそれがあるものではないため上記カテゴリー (CR~NT・DD) には該当しないが、県内の生物多様性の保全の観点から今後の個体数や生息条件の変化に十分に注意する必要があると考えられる種	

イ シカの植生への影響調査

- **継続** 既設固定カメラによるシカ侵入調査(通年)
令和6年度に引き続き井内峠、引地山、高縄山、鬼北奈良において、シカの侵入状況を把握する。新規に自念子ノ頭にカメラを設置する。
- **継続** 防鹿ネットモニタリング(各年1回)
既設防鹿ネット 13 基の点検と効果測定を行う。
既設ネット(赤星山、なすび平①②、笹ヶ峰もみじ谷、岩黒山①②、スカイライン下部、東赤石①②、高縄山①②、皿ヶ嶺①②)
- **継続** シカによる被害の経年変化把握のための定点撮影調査(各年1回)
撮影箇所4地点
笹ヶ峰、瓶ヶ森、自念子ノ頭、伊予富士

ウ 調査報告書の作成

- **継続** 実施した調査の報告書を作成(2月末)

(2) 人材育成事業【人材育成・普及啓発部会】

ア ニホンジカの痕跡についてモニタリングができる調査者の養成

- **継続** 人材育成講座(年2回)
GIS アプリを用いたニホンジカ被害のモニタリング手法について学べる講座を開催する。

(3) 普及啓発事業【人材育成・普及啓発部会】

ア **継続** 出前講座の開催(随時)

県自然保護課主催の各種イベントの機会を活用し、出前講座を開催する。

イ **新規** 普及啓発用パンフレットの作成・配布及び普及啓発パネルの展示

ニホンジカの分布や食害等についてのパンフレットを作成し、環境教育施設等へ配布するとともに、パンフレットの内容を県ホームページにも掲載及び、協議会員主催のイベントや面河山岳博物館等でパネルを展示し、周知を図る。

ウ **継続** 愛媛県内の山の写真収集(通年)

普及啓発用の資料として活用する。

エ **継続** エコツアーの実施【自走化支援事業としても実施】

石鎚森の学校に委託し、年2回登山道を散策しながら動植物の観察やニホンジカによる植生被害について学ぶエコツアーを実施する。

オ **継続** わなオーナー制度【自走化支援事業としても実施】

西条自然学校に委託し、1口5千円で出資者の代わりにわなを設置、狩猟を行う。出資金の対価として、狩猟や鳥獣被害に関する研修や関連した狩猟見学・体験ツアーへ案内する。

カ **継続** 活動報告会の開催(2月)

会員や関係機関等に活動内容を共有し、保全対策に関する情報交換を行うことを目的に、活動報告会を開催する。

(4) 自走化支援事業

ア **継続** エコツアーの実施【普及啓発事業としても実施】

イ **継続** わなオーナー制度【普及啓発事業としても実施】

ウ **継続** 企業協賛による防鹿ネット設置ツアー

防鹿ネット設置に必要な資材(軍手、ゴミ袋、ビニルテープなど)や飲料等を企業による物品協賛により確保するとともに、企業や学生等にボランティアを募りツアーを実施する。

エ **新規** サポーター制度

当協議会の趣旨や活動内容に賛同する個人や企業、団体をサポーターとして募集するサポーター制度を創設し、寄付金(企業・団体:3,000 円/口、個人:1,000 円/口を想定)を当協議会の活動経費に充当し、安定的な収入確保を図る。

オ **新規** ジビエ等の販売

ニホンジカの肉や皮等の製品化や販売化にむけた検討を大学機関等と連携して行う。

(5) 保全計画推進事業【保全計画部会】

ア **新規** 保全計画の策定

令和6年度に策定した保全計画(案)を令和7年度総会で諮り、策定する。

イ **新規** 防鹿ネット等の新規設置

緊急度の高い植物群落について、新規防鹿ネット設置等の対策を行うとともに、ボランティアによる実施が困難な場合は、森林組合等に委託する。

新設ネットの設置予定地

鋸山のカタクリ(1基)、松野町天ヶ滝のカリガネソウ(1基)、成川溪谷(2基)